



2019年3月期 決算説明会

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

(東証一部：6544)



2019年5月13日

1

2019年3月期 決算概要

2

2020年3月期 業績予想

3

今期の重点課題

4

今後の事業展開



2019年3月期 決算概要

売上、各段階の利益とも、過去最高を達成

(百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		前期比 (%)	業績 予想比 (%)	業績予想
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)			
売上高	15,326	100.0	17,900	100.0	116.8	102.3	17,500
原価	10,011	65.3	11,419	63.8	114.1		
売上総利益	5,315	34.7	6,480	36.2	121.9		
販管費	3,963	25.9	4,446	24.8	112.2		
営業利益	1,351	8.8	2,034	11.4	150.5	106.0	1,920
営業外収益	30	0.2	22	0.1	72.6		
営業外費用	43	0.3	55	0.3	127.8		
経常利益	1,339	8.7	2,001	11.2	149.4	105.3	1,900
特別利益	1	0.0	8	0.0	763.9		
特別損失	43	0.3	1	0.0	3.5		
税金等調整前 当期純利益	1,296	8.5	2,008	11.2	154.8		
親会社株主に帰属する 当期純利益	848	5.5	1,265	7.1	149.2	113.0	1,120

2019年3月期決算概要(売上種類別)

(百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		前期比 (%)
	金額	構成比(%)	実績	構成比(%)	
保守・保全業務	12,035	78.5	13,536	75.6	112.5
リニューアル業務	3,254	21.2	4,309	24.1	132.4
その他	36	0.3	54	0.3	148.3
合計	15,326	100.0	17,900	100.0	116.8

2019年3月期決算概要(B/S)

(百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		前期比 (%)
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	
流動資産	4,919	46.3	5,568	48.5	113.2
現金及び預金	1,295	12.2	1,045	9.1	80.7
受取手形及び売掛金	1,993	18.8	2,544	22.2	127.6
有形固定資産	4,189	39.4	4,179	36.4	99.8
無形固定資産	339	3.2	574	5.0	169.1
投資その他の資産	1,175	11.1	1,161	10.1	98.8
固定資産	5,704	53.7	5,915	51.5	103.7
資産合計	10,624	100.0	11,484	100.0	108.1
流動負債	6,002	56.5	5,905	51.4	98.4
固定負債	1,751	16.5	1,641	14.3	93.7
負債合計	7,754	73.0	7,546	65.7	97.3
純資産合計	2,870	27.0	3,937	34.3	137.2
負債・純資産合計	10,624	100.0	11,484	100.0	108.1

2019年3月期決算概要(キャッシュ・フロー)

(百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	前期同期 増減額
	実績	実績	
現金及び現金同等物期首残高	1,105	1,258	153
営業活動キャッシュ・フロー	1,725	1,617	△107
投資活動キャッシュ・フロー	△2,828	△736	2,092
フリーキャッシュ・フロー	△1,103	881	1,984
財務活動キャッシュ・フロー	1,257	△1,094	△2,351
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△0	0	0
現金及び現金同等物期末残高	1,258	1,045	△212

		2018年3月期	2019年3月期	前期同期 増減額
		実績	実績	
年 間 配 当 額	年 間 配 当 額	14円	26円 (13円)	+12円
	中 間 配 当 額	—	—	—
	期 末 配 当 額	14円	22円 (11円)	+8円
	記 念 配 当 額	—	4円 (2円)	+4円
配 当 金 総 額		280百万円	523百万円	+243百万円
配 当 性 向 (連 結)		33.1%	41.3%	+8.2 p
記 念 配 当 除 く		33.1%	34.9%	+1.8 p
純 資 産 配 当 率 (連 結)		11.5%	15.6%	+4.1 p

※2018年10月1日に1：2の株式分割

※ 株式分割（1：2）を考慮しない場合の配当額となります。分割後の配当額は（ ）で記載しております。

■ 配当に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策の一つとして認識しており、経営環境の変化に対応した経営基盤の強化と将来の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様へ安定した配当を継続することを基本方針としております。



2020年3月期 連結業績予想

2020年3月期連結業績予想

単位：百万円,%	上期			下期			通期		
	2019/3期	2020/3期予想		2019/3期	2020/3期予想		2019/3期	2020/3期予想	
	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前期比
売上高	8,200	9,600	117.1	9,700	10,400	107.2	17,900	20,000	111.7
営業利益	772	950	123.0	1,262	1,350	107.0	2,034	2,300	113.1
経常利益	747	950	127.2	1,254	1,350	107.7	2,001	2,300	114.9
親会社株式に帰属する 当期純利益	450	530	117.5	815	820	100.7	1,265	1,350	106.7
	売上比	売上比		売上比	売上比		売上比	売上比	
売上総利益率	35.6	36.0		36.7	36.7		36.2	36.3	
販売管理費率	26.1	26.1		23.7	23.7		24.8	24.8	
営業利益率	9.4	9.9		13.0	13.0		11.4	11.5	
経常利益率	9.1	9.9		12.9	13.0		11.2	11.5	
当期純利益率	5.5	5.5		8.4	7.9		7.1	6.8	

2020年3月期連結業績予想(売上種別)

単位：百万円,%	上期			下期			通期		
	2019/3期	2020/3期予想		2019/3期	2020/3期予想		2019/3期	2020/3期予想	
	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前期比
保守・保全業務	6,480	7,000	108.0	7,056	7,400	104.9	13,536	14,400	106.4
リニューアル業務	1,698	2,300	135.4	2,611	2,700	103.4	4,309	5,000	116.0
その他	21	300	1368.8	33	300	930.3	54	600	1107.8
合計	8,200	9,600	117.1	9,700	10,400	107.2	17,900	20,000	111.7



今期の重点課題

1 保守契約台数の増強

2 リニューアル(RN)事業の一層の強化

3 Lift SPOT事業の強化

4 利益率の向上

1. 関西・東海・九州地区への注力

(1) 関西

- 京都営業所の新設（4月）
⇒京都地区の営業強化
⇒協力会社からの移管を受け、順次スタート
- 茨木営業所の新設（6月）

(2) 東海

- 豊田営業所の新設（3月）
- 四日市営業所の新設（4月）

(3) 九州

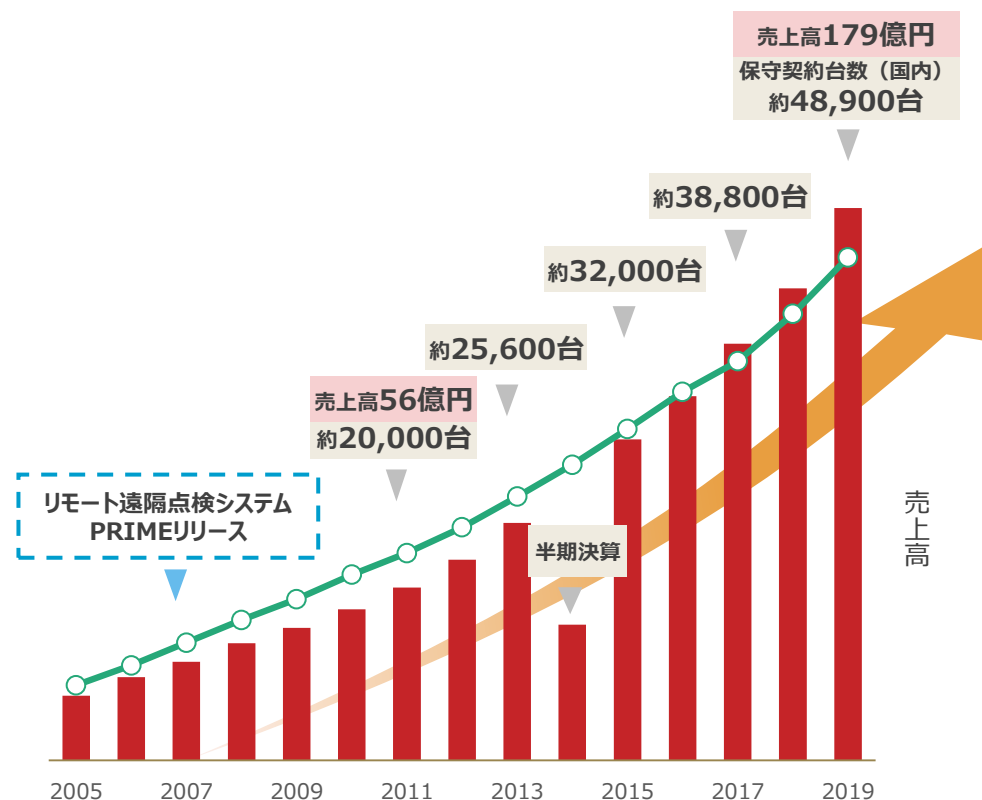
- ジャパンエレベーターサービス九州(株)の設立（4月）
⇒九州北部からスタート
⇒協力会社からの移管を受け、約140台からスタート

(4) 西日本

- 西日本パーツセンターの設置（6月）
⇒今後の西日本地区への注力を視野に入れ、サービス力の質的向上を目的とする

2. 首都圏のシェアアップ

ドミナント戦略の強化、及び友好的なM&Aによるシェアアップを図り、一層の生産性向上を図る



今後のリニューアル需要の高まりに対応するため、リニューアル事業を更に強化する

1. 一括リニューアル

- 2019年3月期はJES Innovation Center(通称JIC)での対応力強化が実った
- 消費税増税前の駆け込み需要もあり、台数ベースで前期の約22%増の完工に成功
- 制御盤の調達先を広げる等、原価の抑制を図り、コスト競争力の強化を図る
 - ⇒大量発注による、原価の抑制
 - ⇒海外有力メーカーも使用している高品質低価格の部品調達による、原価の抑制

2. Quick Renewal

- 2018年6月から2機種の販売を開始
- コンセプトの浸透は着実に進み、台数ベースで一括リニューアルの約10%程度の成約に成功
- 今期も来るべき大量のリニューアルニーズに応えるため、Quick Renewal対応機種を増やし、リニューアルニーズの取り込みを図る

開発機種の世界規模

リリース時期	対象機種数	全国(推定) (台)
現状	4	50,000
2020/3月期末予想	4	40,000
計	8	90,000

* 2018年10月末の当社保守台数から推計

1. Lift SPOT業務の内製化

- エレベーターを情報媒体として捉え、カゴ内に防犯カメラ内蔵のサイネージ・スクリーンを無料で設置。
スクリーン上に動画広告等を配信、広告収入を得る。
⇒23区、及び大阪・名古屋などの一部大都市圏から設置を試行
- 2019年3月末時点の成約台数：約1,300台
⇒中期的に10,000台設置を目指す
- 今期中、早期に顔認識システムを搭載予定
⇒広告主に対するマーケティング支援機能の追加
⇒エレベーターユーザーに対する防犯面強化



LIFT
SPOT

「Lift SPOT」ロゴマーク

2. 設置台数の強化

- 当社の保守事業に付加価値を与えると共に新たな収益源を育成する目的で「メディア事業」を立ちあげ
⇒広告主への効果的なアプローチのため、まずは1,000台設置を目指す
⇒2020年3月末目標設置台数：3,000台



「Lift SPOT」設置例

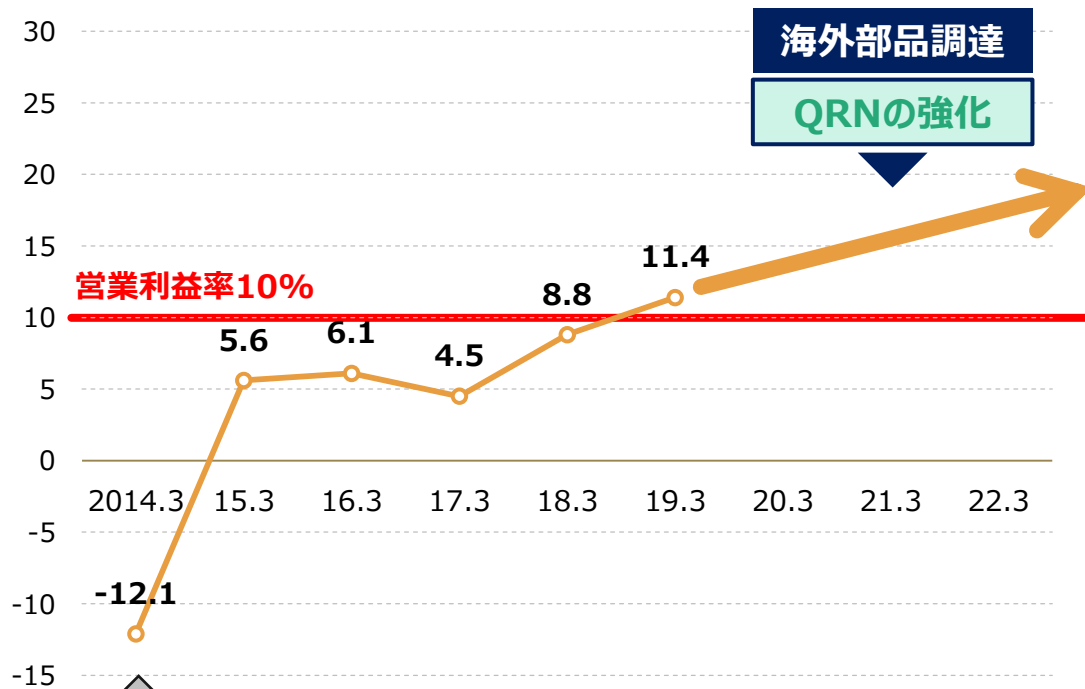
1. 部品の海外調達強化

- (1) JICでの徹底的な検証
- (2) 優良部品メーカーの発掘と関係強化

2. リペア品の積極的投入

3. Quick Renewal強化による原価及び、リニューアル工事のための外注費削減

当社営業利益率の推移(%)



半期決算

上場準備開始

* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算

* 2015年3月期以降は連結決算

主な調達強化部品



巻上機



制御盤

* イメージ写真

目的

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1.Quick Renewalの開発スピードアップ | ⇒ 売上と利益率向上 |
| 2.海外調達部品の検査力強化 | ⇒ 利益率向上 |
| 3.パーツセンターの一層の強化 | |
| (1)故障対応力強化 | ⇒ サービス力向上 |
| (2)協力会社への支援 | ⇒ 売上向上 |

JIC新棟イメージ図

2020年10月竣工予定



	敷地面積 (m ²)	延床面積 (m ²)	規模
JIC	4,923.61	5,603.73	・3階建て ・約50mのテストタワー1本 ・テスト用エレベーター4台
JIC II 期	2,673.64	3,525.78	・3階建て ・約33mのテストタワー1本 ・テスト用エレベーター6台

【ご参考】

Quick Renewalと同様のコンセプトと考えられる商品のリリースが相次ぐ

- ・三菱電機ビルテクノサービス Elemotion+[ZERO]
- ・東芝エレベータ 時短リニューアル
- ・日本オーチス・エレベータ ARISE MOD Live
(アライズ・モッド・ライブ)

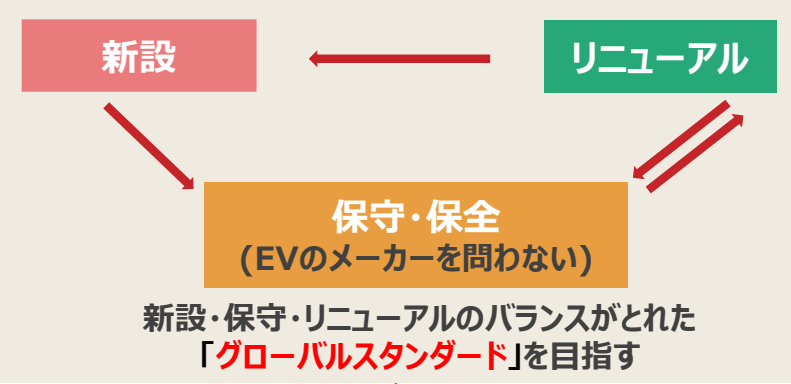
※他独立系は現時点で同様の商品はリリースしていない

1 1 2 3 4 4



今後の事業展開

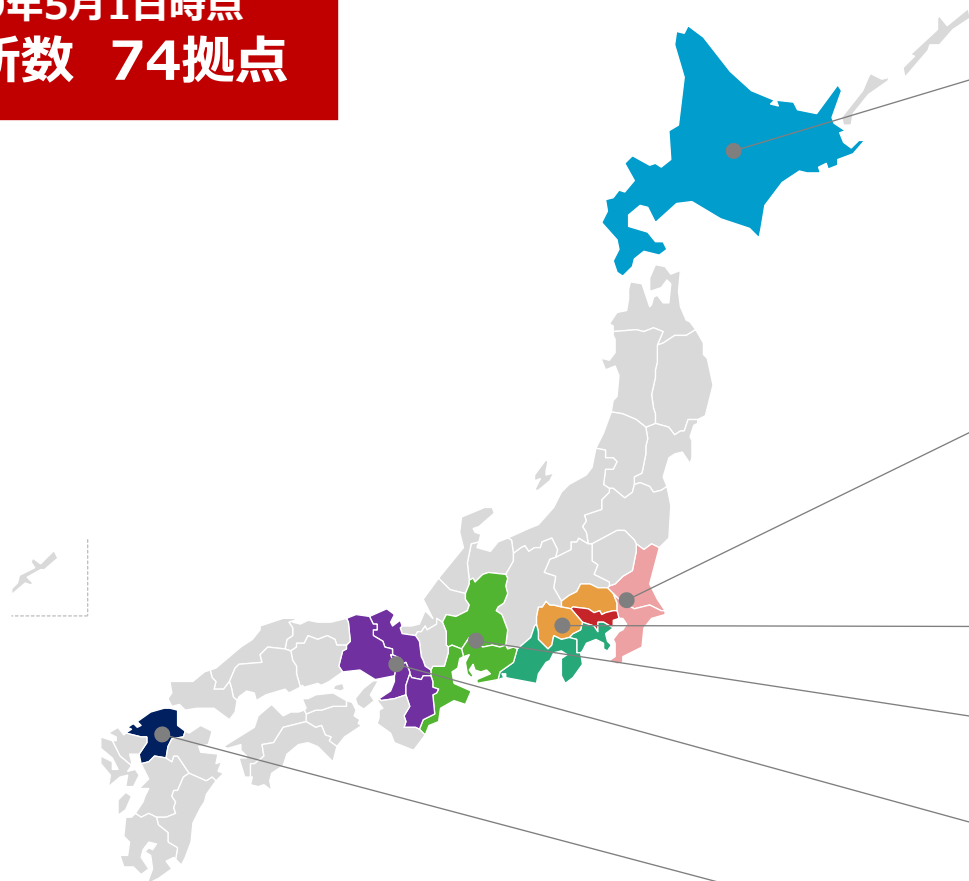
今後の事業展開(グローバルスタンダードを目指して)

事業	国内		海外	
	現在	中長期	現在	中長期
保守・保全	進出地域のシェアアップによる保守契約台数の着実な増強	メーカー系保守会社に匹敵する規模を目指す	インド市場を開拓	東南アジア圏にも進出
リニューアル (R N)	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div> <p>一括RN → 市場拡大に応じて当社及び他社保守物件への対応強化</p> </div> <div> <p>Quick RN (分割RN) → 対応可能機種数増加</p> </div> </div>	顧客のニーズに合わせたきめ細かいRNサービスを提供		
新設	当面、国内での新設事業の計画無 (但しRNは実質的にはJES製のエレベーターの新設)			
新規 (メディア事業)	EVカゴ内でのメディア事業を立ち上げるとともに保守事業へのプラス効果も狙う (顔認識システム によるマーケティング支援機能も追加)			



参考資料

2019年5月1日時点
営業所数 74拠点



JES 北海道
営業所数：9拠点

JES HD
営業所数：2拠点

JES 城南
営業所数：14拠点

JES 城西
営業所数：14拠点 (+1)※

ジャパンエレベーターパーツ
営業所数：7拠点

JES 神奈川
営業所数：16拠点 (△1)※

JES 東海
営業所数：6拠点 (+2)

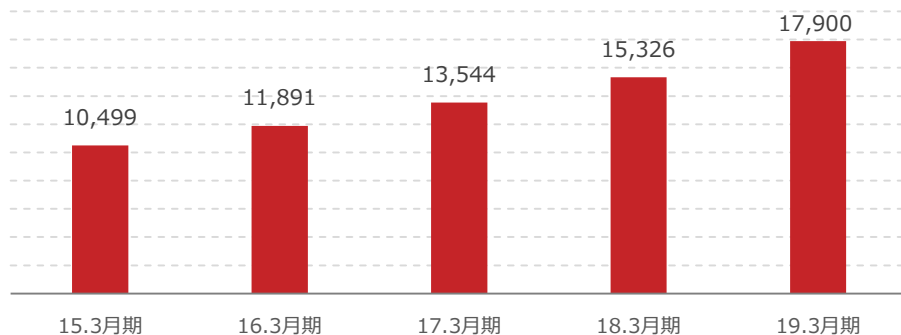
JES 関西
営業所数：5拠点 (+2)

JES 九州
営業所数：1拠点 (+1)

※ 所管変更
() 2018年3月末からの増減数

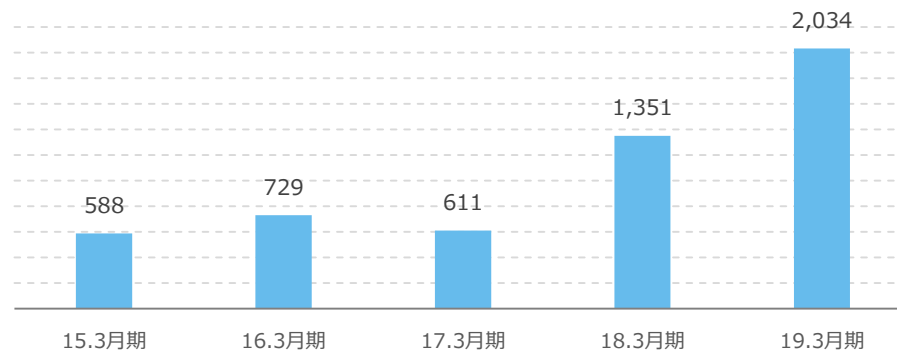
売上高

(百万円)



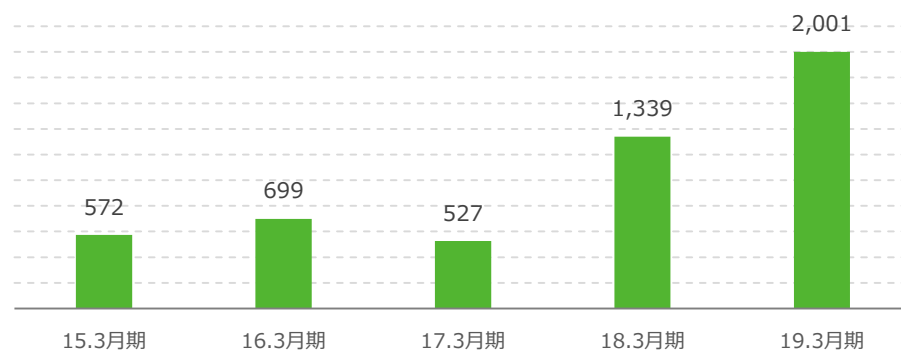
営業利益

(百万円)



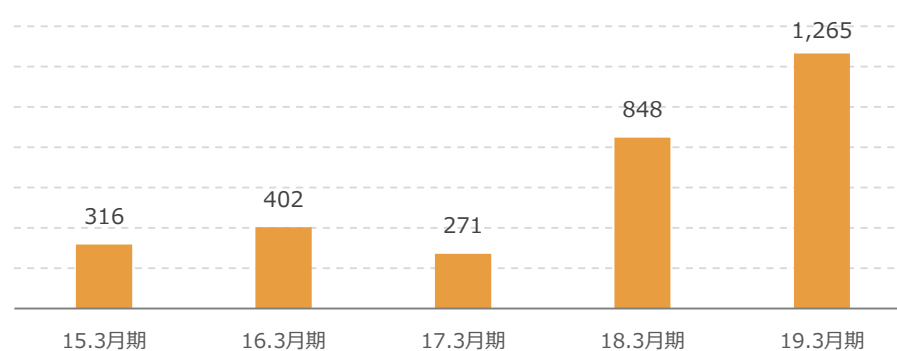
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)

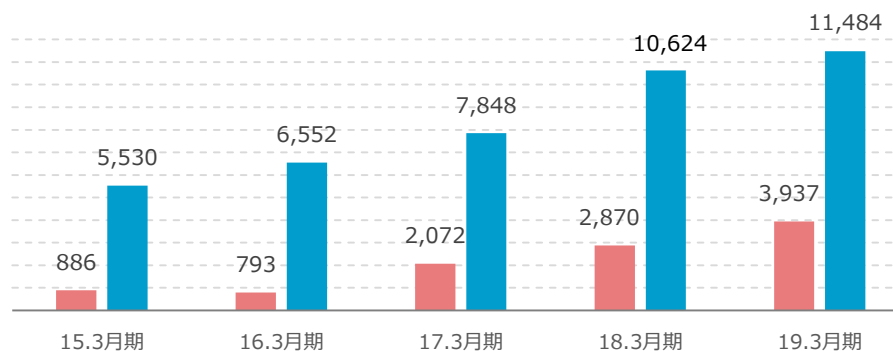


純資産額／総資産額

(百万円)

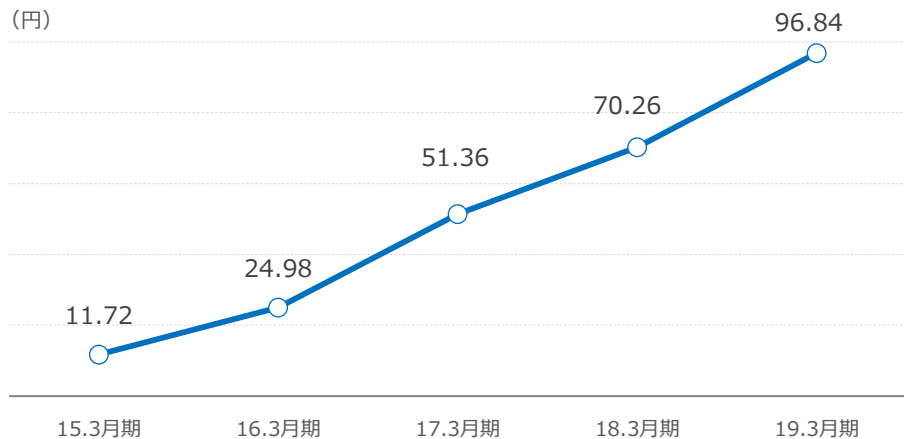
■ 純資産額

■ 総資産額



1株当たり純資産額

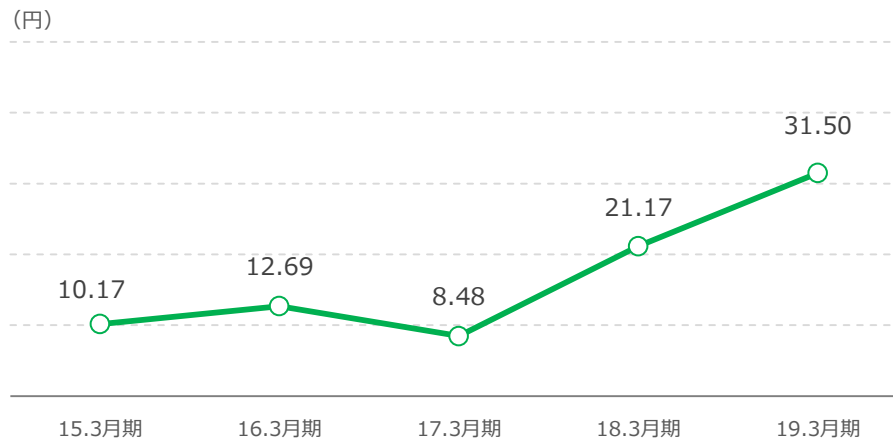
(円)



* 1 : 2の株式分割 (2018年10月1日効力発生)

1株当たり当期純利益金額

(円)



* 1 : 2の株式分割 (2018年10月1日効力発生)

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。